

- ① **科学事件 (岩波新書663)** ②柴田鉄治 著 ③岩波書店  
 ④近年、科学技術に関係する多くの事件・事故が社会を騒がせており、科学技術と社会との関係が大きくクローズアップされている。本書は、最近話題となった事件に検証を加えることによって、科学技術と社会との関係を見直そうとするものである。科学技術に携わろうとする者にとって、一読する価値がある。(推薦者:小島透先生)
- ① **マックスウェルの悪魔** ②都筑卓司 著 ③講談社  
 ④なぜ温度差がなければ、熱は仕事に変えられないか?この問いは、熱力学の最も根元的なテーマであり、時間の本質とも関係する深遠な問題である。この本ではこの問題を、日常生活から宇宙の成り立ちまで、森羅万象のあらゆる現象と関連づけて論じている。物理の奥深さを知るには最適の書と言える。(推薦者:丸山祐一先生)

- ① **The Art Computer Programming Volume 1 Fundamental Algorithms 3rd ed.日本語版**  
 ②ドナルド・E・クヌース 著、有澤誠・和田英一 編集、青木孝・笈一彦・鈴木健一・長尾高弘 翻訳  
 ③アスキー  
 ④コンピュータアルゴリズムのバイブルKnuth先生の名著でビルゲイツもお勧めの名著。数値演算の基本アルゴリズムについて解説されています。独自の計算モデルであるMIXの解説や、基礎的な概念、情報構造などについての話を、高校の代数以上の数学知識をもたない読者でも、全体を把握できるように構成されています。(推薦者:信吉輝己先生)
- ① **プロジェクトX：挑戦者たち** ②NHKプロジェクトX制作班；NHK 編  
 ③日本放送出版協会；NHKソフトウェア  
 ④単行本とDVDが出ているが図書館にはどちらもそろっている。DVDのほうが、資料映像が豊富である。「液晶 執念の対決」、「私たちの復活戦デジタルカメラに賭ける」、「プラズマテレビ愛の文字から始まった」など企業における「ものづくりへの挑戦」をまとめており、技術者による開発の側面を知る参考になるであろう。(推薦者:秋山宜生先生)

- ① **地球環境時代のIT読本** ②加藤尚武 著 ③丸善  
 ④情報工学分野の様々な話題を約30項目取り上げ、最新的话题に触れつつ、初心者にも分かり易く解説している書物。単に用説の説明書ではなく、原理的な話から、解決すべき問題点等にも言及している。(推薦者:西原典孝先生)
- ① **「白い光」のイノベーション** ②宮原諄二 著 ③朝日新聞社  
 ④人類は明かりを手にする事で時間的・空間的に行動範囲を広げてきた。当初それは炎の黄色い光であったが、人類は太陽の光にできるだけ近い白い光を求め工夫を凝らしてきた。本書はなぜ人類が白い光を求めてきたか、それをどうやって実現してきたか、炎から白色発光ダイオードに至るまで解説している。(推薦者:島田恭宏先生)

- ① **脳のなかの幽霊** ②V.S.ラマチャンドラン 著 ③角川書店  
 ④神経疾患の患者の奇妙な症状を紹介し、その症状を手がかりに人間の脳の仕組みや働きを論考していくという構成のとても興味深い内容をもつ本である。「自己」とは何か?と考えてしまったり、著者のユーモアにおもわず笑ってしまったりの“楽しい”本でもある。(推薦者:神谷茂保先生)
- ① **複雑な世界、単純な法則** ②マークブキャナン 著 ③草思社  
 ④無秩序としかみえないところ、なんの特徴もない状態としか思えないところにも重要なパターンと規則性が存在し、そのパターンは、種々の領域の多くの現象に共通したものであり、見かけの複雑さにかかわらず単純な法則に従っていることがある。これらをネットワークの視点から論じており、とても興味深い本である。(推薦者:神谷茂保先生)